

あいさつ

わたしたちの多良間村は、宮古島と石垣島のほぼ中間に位置し、水納島と多良間島の二つの島からなる農業を主な産業とする村です。

3,4年生で学習するこの本は、わたしたちが生活している多良間村について学ぶためにつくられました。

多良間村といえば、「八月おどり」「スツウブナカ」に代表される無形民ぞく文化財や史跡があり、水納島と多良間島全体は「沖縄県指定自然公園」として、豊かな自然かんきょうにめぐまれています。

このような大自然の中で行われる村の行事に、みなさんが参加して、協力していくことも、後けい者として、とても大切なことです。

また、村内には多くの公共しせつや仕事場があります。たんけんを通して、仕事の様子やその役わりなどについて調べ、わたしたちの生活にどのようにつながっているのか、考えてみましょう。

わたしたちが生まれ育った多良間村のことを知るといことは、とても大切なことです。そして、この多良間村が将来どのような村になってほしいのか。そのためには、みんなで考え、協力し合っていく必要があります。

最後に、この本を出版するにあたりご協力いただきました、編集委員の先生方に感しゃし、お礼申し上げます。

平成28年3月

多良間村教育委員会

教育長 池城三千雄